

令和 6 年 もっと安心農産物 春夏人参統一栽培暦

1. 土づくり

完熟堆肥または緑肥で土づくりを行う。土壌診断を実施し、適正施肥を心がける。

★堆肥 1,000kg/10a 以上 緑肥 2,000kg/10a 以上

2. 施肥 化学窒素 10kg 以下

	肥料名		施肥量 (kg)	10a 当たりの成分施用量		
				窒素	リン酸	加里
基肥 1~3 から選択	1	ゆうき日和(10-8-4) 有 N48%	180 以下	18 (化 N9.36)	16	8
	2	人参ブリケット 688 (6-8-8) 有 N26%	220 以下	13.2 (化 N9.76)	17.6	17.6
	3	ヘルシーパワーLP 入り (8-8-8) 有 N31%	180 以下	14.4 (化 N9.9)	14.4	14.4
土壌改良資材	くみあい総合微量要素 FTE (4kg/10a) . 苦土重焼燐. 硫マグ. 硫酸カリ. 油かす					
	苦土石灰. 畑のカルシウム (土壌診断による適量施用) . レオグリーン特号					

3. 防除 化学合成農薬 **8 成分回数以下**

★みんなで作ろう生産基準★

管理作業	分類	薬剤名	成分カウント	希釈倍数	10a あたりの使用量	使用時期	回数	対象病害虫	備考
土壌消毒	選 択	D-D	1	-	15~20ℓ	播種 10~15 日 前	1	ネグサセンチュウ ネコブセンチュウ コガネムシ類幼虫	しみ腐病回避の為 水はけのよい圃場 づくりを行う。
		テロン	1	-					
		デイトラベックス油剤	2	-	20~30ℓ	播種 21 日 前	1	センチュウ類 しみ腐病 (糸状菌全般) 1 年生雑草	線虫の発生が多い場合 は線虫対抗作物を 作付けする。
			30~40ℓ						
播 種	虫 選 択	フォース粒剤	1	-	4 kg	播種時	1	ネキリムシ類	土壌消毒実施 圃場では不要。
		ネマキック粒剤	1	-	10 kg (作条)	播種前	1	ネグサセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサセンチュウ	均一に散布し、丁寧に 土壌に混和する。
			15~20kg (全 面)						
			20kg (全面)						
		ビーラム粒剤	1	-	20kg (全面)	1	ネコブセンチュウ ネグサセンチュウ		
	菌	リゾレックス粉剤	1	-	20~40 kg	播種前	1	根腐病 リゾクトニア菌のみ	
		ユニフォーム粒剤	2	-	9~18 kg	播種前	1	しみ腐病 ヒシム菌のみ	2 成分使用
	草 選 択	ゴ-ゴ-サン乳剤	1	-	200~400ml	播種後出芽前	1	畑地 1 年 生 雑 草	重複散布は行わない (粒剤より乳剤の 方が効果安定。)
			1	-	200~300ml	播種直後	1		
			1	-	4~5 kg	播種後出芽前	1		
1			-	4~6 kg	播種直後	1			
被 覆 除 去 後	虫	ランネット 45DF	1	1000 倍	100~300ℓ	収穫前日	2	ハスモンヨトウ アブラムシ類	ハネオレバエに対して 対策もかねる。
		ゼンターリ顆粒水和剤	0	1000 倍	100~300ℓ	収穫前日	-	ヨウムシ	ハネオレバエ対策にも 効果がある。
		ベネビア OD	1	4000 倍	100~300ℓ	収穫前日	3		
		コテツフロアブル	1	2000 倍	100~300ℓ	収穫前日	2	ヒョウタンゾウムシ類 ハスモンヨトウ	かけ残しのないよう 丁寧に散布を行う。
		アクセルフロアブル	1	1000 倍	100~300ℓ	収穫前日	3		
	菌	アミスターオプティフロアブル	2	1000 倍	100~400ℓ	収穫 21 日前	2	しみ腐病 黒葉枯病	2 成分使用
		アフェットフロアブル	1	2000 倍	100~300ℓ	収穫 7 日前	3	黒葉枯病	うどんこ病や白絹病に 対して対策もかねる。 黒葉枯病は発病前に 防除を行う。
		Zボルト-	0	500 倍	100~300ℓ	-	-		
		ホリオリキシン AL 水和剤	0	500 倍	100~300ℓ	収穫 7 日前	5		